

国連NGO横浜国際人権センター・うずしおランチ T-over人権教育研究所・人権こども塾ニュース

人の世に熱あれ 人間に光あれ⑥ ～語り語りを生む部落問題学習～

生徒への信頼と尊敬を込めて語った教師の第一声

今日は、これまで取り組んできた同和問題の学習、その学習に寄せる思いをもとに、水平社宣言讃歌が自分にとって何であるのか。かつての自分、今の自分を振り返りながら、その思いを語り合いたいと思います。

第25回全日本中学校道徳教育研究大会特別公開授業から20日間が経過し、1991年11月19日(火)に開催された第21回徳島県中学校同和教育研究大会における最初の問いかけである。授業を待ち焦がれていた生徒たちは次から次へと挙手をし、語り続ける。

S・Eの語り「水平社宣言讃歌が一番身近に感じる資料」

この資料を一番最初に読んだ時は、なんかやたら長くて読む気もあんまりならんかって、2回目ちょっと読んでみた時は、やっぱり半分くらいで何が言いたいのかわからんかって、3回目ぐらいからわかってきたような感じがして、それでもまだよくはわかっていません。私にとってこの水平社宣言讃歌という詩は、今までの資料の中で一番難しく、それでも一番身近に感じる資料です。

H・Mの語り「団結の意味を学ぶことがなかったら、このクラスも今のような姿にはならなかった」

僕から見てこの水平社宣言讃歌は、僕がずっと前からいつも言っていることだけど、団結という言葉が好きで、その団結という言葉を変えてもっと好きになったような学習をした感じがします。団結は弱い者が強い者たちに勝つための一つの手段であるというのが好きです。団結の意味を学ぶことがなかったら、このクラスも今のような姿にはならなかったし、このような見事な同和問題学習とかには取り組めなかったと思います。

K・Kの語り「全道研の時S・Nさんが支えてくれたことがうれしかった」

さっきのH・M君の意見によく似ているんだけど、私も団結という言葉が好きになって、郡同研(板野郡同和教育研究大会公開授業)の時にはすごく燃えたんだけど、途中いろいろあってそれで全道研(全日本中学校道徳教育研究大会特別公開授業)の時にS・Nさんとかが支えてくれたのがうれしかったです。

K・Hの語り「水平社宣言讃歌はすべての資料の総まとめ」

水平社宣言讃歌は僕にとって、今までやってきた全部の資料の総まとめで、今までの資料のすべてがこの中に入っているような感じがします。

K・Uの語り「水平社宣言讃歌は部落の人たちの本当の思いが溢れている」

この水平社宣言讃歌は文としてはあまりまとまってない感じなんだけど、何かすごい力強いものを感じて、これが部落の人たちの本当の思いであるし、人間としてのあり方もすばらしいあり方を述べていると思います。

S・Nの語り「これまでの資料は水平社宣言につながっていることが分かる」

私もみんなと同じで今までいろいろな資料を学習してきたけど、「渋染一揆」にしても「意識の芽ばえ」にしても、今までみんなと勉強してきた資料は、結局この水平社宣言につながっていたんだということが水平社宣言讃歌を読んでわかりました。

本気の人権学習は、——「すべてを変える」
うずしおランチ共同代表 森口 健司

